

# 目の前の仕事を一生懸命完璧にやる。 それこそが未来へ繋がること。

株式会社大島産業グループ 代表取締役CEO **大島 康朋**

創業者である父親から同社を引き継いだのは1984年、弱冠19歳のとき。それまでの建設事業に加え、新たに物流業界へも進出。無我夢中で走り続けた結果、2011年、2012年と2年連続で「アジアの次世代の最高経営責任者」200名「ジャパンタイムズ」2011年11月18日・2012年11月8日付にも選出。今後はどんな事業へ乗り出すのか? 周囲が新たな展開を期待する中、意外にも大島康朋社長は「ビジョンは明示しない」と語る。

## 三年先の未来より 目の前の課題が

10代で会社を継ぎ、自分より経験も年齢も上の社員の  
中、夢中で仕事をしてきた結  
果、大島康朋の大島産業とい  
う印象が強くなりました。皆  
さんに良く聞かれる質問の多  
くに、これからの展望などが  
ありますが、目標は語りませ  
ん。今後のビジョンなども明  
示しません。もちろん、現在社  
員が120名になり、その家  
族も合わせれば500名近  
くの生活がかかっていますか  
ら、会社を継続させていくこ  
とは大事です。そのためには、  
どうなるかわからない三年先

のことを考えるより、目の前  
にある仕事を完璧に行うこ  
とのほうがずっと大切で価値  
のあることだと考えます。経  
営者はある意味農家と一緒に  
すよね。種をまいて水をやり、  
草むしりをして育てた実であ  
る社員を世の中に送り出す。  
それをおいしくかどうか決め  
るのは周囲の皆様です。そう  
して世に出した社員がおいし  
ければ、自ずと事業は継続し  
ていきます。その流れの中で  
『大島さん、もう少しトラク  
を増やしたら?』というお話  
をいただき、事業が広がりが  
社が成長してきたわけです。  
何年後にトラックを何台増や  
そう、という計画があったわけ

ではないのです。実は、今度冷  
凍車を導入するのですが、そ  
れも関係会社の方に声をか  
けられたのがきっかけです。そ  
ういう声がかかるのは本当あ  
りがたいことです。それも、  
日々の仕事を社員がしっかり  
行っているからこそではないで  
しょうか。

## 胡蝶蘭ではなく たんぼのように

今、大島産業は大島康朋が  
クローズアップされがちです。  
これまで自ら先頭で率いてき  
ましたが、これからは組織の一  
員でありたいと思っています。  
一人でできることは限られて  
いますし、社員数が増えたと  
在、管理職として信頼おける  
人材に任せられる部分は任せ  
ています。組織力を育て、社  
長は後ろからみんなをプッ  
シュし支えていく存在であり  
たいと思います。社長室の壁  
にたんぼの絵の色紙を飾っ  
ていますが、実はたんぼが好  
きなんです。華やかな胡蝶蘭  
などより、どんな道にもたく  
ましく育ち、毎年きちんと花  
を咲かせる。経営者として立  
派な先輩方や大きな企業が  
福岡にもたくさん存在しま  
す。当社はまだまだ  
足元にも及ばないほ  
どの存在です。です  
から、無理に派手な  
大輪を咲かせようと  
思わず、たんぼの  
ように地道に、でも  
たくましく花を咲か  
せていけたらと思っ  
ます。

(談)



### 株式会社大島産業グループ

- 本社 〒811-4154 福岡県宗像市富地原1791-1
- 電話 0940-33-1558(代)
- URL <http://www15.ocn.ne.jp/~ohshima/>
- 創業 1967年 ■ 事業内容 建設事業・物流事業
- 代表取締役CEO 大島 康朋
- 出身校/ 和歌山県立箕島高等学校 普通科卒業(硬式野球部)  
第65回全国高等学校野球選手権大会 出場

お問い合わせ

株式会社大島産業グループ ☎0940-33-1558(代)